

柔らかさとツヤで作る 大人感と甘さが決め手のクラシカルヘア



岩本紗季

山口県出身。福岡美容専門学校卒業後、C-LOOP UNITEDに入社。現在はSALON de JOE店に勤務。サロンワークの他に、サロンスタイル撮影、クリエイティブ撮影のメイク等で活動中。
2010年 BHAJ川原文洋賞第2位
2012年 C-LOOP UNITEDフォトコンテスト フェミニン部門最優秀賞



秋冬に向けた深みのあるブラウンで
重軽シルエットと大きめカールに
大人の女性らしい抜けを作る

大人の女性感の漂うクラシカルなスタイルに、カールの柔らかな動きと深みのある色でビターな甘さをプラスしました。

今年は夏に流行した軽めのボブから伸ばして行く傾向にあるので、軽めの毛先が増えてきます。重軽シルエットに少し丸みを持たせて、クラシカルな雰囲気が出るように仕上げました。長めに残した前髪で目力を高めると、色っぽさと可愛らしさの両方を引き出す事が出来ます。

カラーリングはこの秋冬に大人気のメルティカラーです。深みのあるブラウンにすることで、夏の紫外線でダメージを受けた髪にも深い潤い感を出す事が出来ます。アクセントとしてハイライトで立体感をプラスして、より動きと軽やかさを出しました。

潤いに満ちた美しい髪は落ち着いた大人感を演出するのに最適で、秋冬のファッションにも合わせやすいので、今季は深み、透明感、ツヤ感のある暗すぎないブラウンがオススメです。



① 施術前の状態です。毛量は多め。ダメージは特に少ないですが、広がりやすく、パサ付いて見えやすい髪質です。



② アウトラインは少し前上がりに、カットラインがU字になるようにカットします。



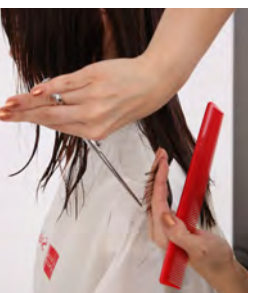
③ サイドの顔まわりは、顎の下あたりからレイヤーを入れて少し軽く見えるようにします。



④ オーバーセクションのレイヤーを入れていきます。丸みを残し、重軽なシルエットを作りたいので、高く入れすぎないようにします。



⑤ ミドルセクションは、オーバーのガイドとアンダーのガイドをローレイヤーで丸く繋げてカットしていきます。



⑥ サイドにも繋げて、ローレイヤーでカットします。



⑦ 前髪は深めに取り、右に流れるように左に寄せ、目の下の長さで設定します。



⑧ 毛量調節をします。アンダーは厚くなりやすいので、根元の方から間引いていきます。



⑨ ミドルは中間から間引いて調節していきます。この時、丸みがなくなり過ぎないように注意してください。



⑩ オーバーは広がりやすい髪質の為、軽くしすぎないように毛先のみ調節していきます。



⑪ 前髪は厚めに下ろしている為、毛先に少し軽さを出していきます。



⑫ ドライカットの終了です。毛先の軽さに注意してください。



⑬ ドライカット終了、バックです。U字のアウトラインに注意してください。



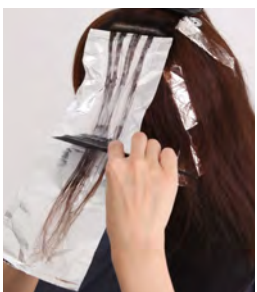
⑭ ネープに1cmスライスで5mm×5mmのハイライトを入れます。コントラストを付けたいので、ミルボン13ホワイトアッシュに少しブロンダーを混ぜて塗布します。



⑮ 2枚目はヘムラインに添って斜めにスライスを取り、5mm×5mmで入れます。斜めに入れる事により、前に流した時にもしっかりと見えるハイライトを作ります。



⑯ 3枚目は耳後ろからスライスを取り、耳後ろギリギリからチップを5mm×1cmで入れます。耳後ろの髪をチップでしっかりと取ることがポイントです。



⑰ 表面はハチ上に5mm×1cmで入れます。トップには1cmのカバーを残しておきます。



⑱ 全体はコントラストを付けたいので、ミルボンの8トーンメープルブラウン4%でワンメイクします。ホイールを外し、シャンプー前に乳化してハイライトに少し色を馴染ませていきます。



⑲ カラーリング終了です。落ち着いた中に、少しアクセントが入って立体的になりました。



⑳ 全体を32mmのコテでランダムに巻きます。クラシカルな雰囲気にする為、あまり強く巻かず大きめのカールで抜け感を意識して仕上げます。

